

地元・麻布十番の変遷を活写

理容店主は名物ライター

遠藤幸雄さん

江戸時代から続く老舗がありながらも国際色豊かな港区麻布十番は、かつて映画や文豪の街だった。そんな街の歴史を記してきたのが、商店街で理容店を営む遠藤幸雄さん(82)だ。商店街振興組合が発行する月刊広報紙「十番だより」で数々の連載をものした名物ライターに、ちょっと昔の麻布十番を味わい深く語ってもらった。



①「十番だより」について語る遠藤幸雄さん
②創業80年の理容店をともに営む妻澄枝さん



③駅から広がる麻布十番商店街 ④遠藤さんが執筆した「十番シネマパラダイス」のページ(手前)。上は現在のカラー印刷になった「十番だより」

「映画が『栄華』を極めた一九五八年、十番商店街、それも十番二丁目に四軒の映画館が共存し、にぎわっていたんですよ。戦後に生まれそして消えた十番の映画館の跡地が、すべてスーパードに替わったのも、何か奇妙な暗号のようです」

創業八十余年を数える老舗の理容店エンドウの二代目遠藤さんが、生き生きと映画の街の様子を話し始めた。生まれも育ちも麻布十番二丁目、映画館の関係者が髪を切りに来る縁もあり、中学生のころから四軒の映画館をハシゴして年間百本以上観賞する映画ファンになった。

勉強も絵や文章を書くことも好きだったが、長男の責任もあり大学進学を諦めて家業を継いだ。当時は、お客用のイスが六台あり、住み込みの店員らと一緒に店を切り盛りするほど忙しかった。一九七九年に商店街の広報部に推され、広報紙「十番だより」の編集を手伝い始めた。五七年創刊の十番だよりは、一般的な商店街の広報紙とは少し趣が異なり、史跡巡りなどの連載が大半の読み応えあるもの。「スクラップしてくれような記事を書きたい」と心に秘めていた遠藤さん。九六年、当時の編集長に本格的な連載を頼まれた。手掛けたのは麻布に住んだ樋口一葉、北原白秋、三好達治など「麻布を通り抜けた文学者たち」(九六年九月号〜二〇〇〇年七月号)。飯倉片町の下宿に梶井基次郎と三好達治が間借りし、三好の引越した後に伊藤整が越して、わずか十日余り共に過ごした様子を鮮やかに書いた。

「十番だより」に長年連載 文士→地下鉄→映画秘話

「インターネットは使わないから、仕事の終わる夜七時に近くの麻布図書館に駆け込み、何冊も資料を探し徹底的に調べたよ。締め切り前は徹夜続きだったなあ」と遠藤さん。「昨日は日本橋と有楽町で三本ハシゴしてきた」と、今も年間九十本以上見続けるが、今後は自身が体験した戦後の東京を書き残したいという。「昔のことを掘り起こすと面白いことばかり。時代の流れで失われていくものの記録になれば」と力を込めた。

理容店を一緒に切り盛りする妻の理容師、澄枝さん(モトは「仕事も編集も手を抜かないから髪が薄くなったよ」と笑った。)

文・市川千晴/写真・由木直子/紙面構成・宮園勉

fax 03-3595-6920 email t-hatsu@tokyo-np.co.jp

貝 弘前を走る弘南鉄道の鉄道まつりで落語をやってきました。会場は車庫内で高座の後ろに金ぴょうぶに見立てた銀色の元東急7000系が、正面を向いて置かれているというすごい落語会でした。ここにはかなり貴重な、同じく元東急の6000系が保存されているのですが、感動しているのは私だけで、地元の人たちは目もくれず呑気にビールを飲んでいました。沿線の前駅調査も忘れません。同社の大鰐線、弘南線には前駅が合わせて8つ。10月の

徒歩0分 究極の前駅



弘前は空気が冷たく薄着の身には堪えましたが、「運動公園前」に降りた時に寒さが吹き飛びました。キングオブ前駅、出現です。プロの試合も行われる野球場などがある弘前市運動公園の前駅で、弘前寄りの出口を出ると、もうそこは公園の中です。つまり、駅から運動公園までの距離、所要時間もともに0ということになります。豊橋鉄道の「愛知大学前」に続いて、私が訪れた前駅の中では2例目です。下調べで近そうだということは分かっていたのですが、ここまでとは。実際に来てみると分かりません。ただ、感動しているのはやっぱり私だけで、地元の皆さんは呑気に散歩をしていました。

すごいお宝が誰にも気づかれずに眠る弘南鉄道、かっこいいです!

鉄学

しましましよ

古今亭駒治さん

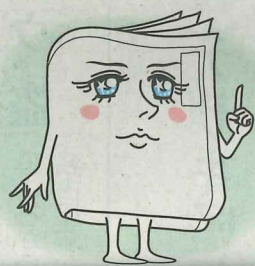
ここんてい・こまじ 1978年渋谷区生まれ。落語協会真打ち。「鉄道戦国絵巻」など、鉄道がテーマの新作落語を手掛ける。

次は 土屋武之さん

「鉄学しましましよ」は東京新聞ホームページにも掲載。ツイッター「東京新聞鉄道クラブ」では本紙記者が鉄道的话题をつぶやいています。

日めくりチョウカンヌ

1922年、英国の考古学者カーターがナイル川西岸「王家の谷」で、古代エジプト第18王朝のファラオ、ツタンカーメンの墓の入り口を発見した。



東京新聞キャラクター チョウカンヌ